

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり

2025 年元旦祈り会 1 講

三つの庭-光の神殿回復-私のやぐら

講師 柳光洙牧師

日/場所 2024 年 12 月 31 日/インマヌエル教会

'24.12.31 元旦 1

三つの庭—「**光の神殿回復**
私のやぐら」

残りの者、残る者、残れる者、残す者
24、25、永遠
ヨハ 1:14—みことば成就

序

1.暗闇の勢力

- 1)強大国
- 2)政治家
- 3)世論
- 4)サタン

2.光の勢力

- 1)創1:3
- 2)イザ 60:1-2
- 3)詩 119:105
- 4)ヨハ 1:11
- 5)マタ 5:14

3.三つの庭

- 1)多民族
- 2)RT
- 3)癒やし

本

1.私の中に

- 1)7やぐら
- 2)御座の
旅程
- 3)御座の
道しるべ

2.教会の中に

- 1)出 2:1-10
- 2)II列
6:8-24
- 3)ダニ 1:8-9

3.現場に

- 1)13
16、19
- 2)13、16
19
- 3)17、18
19
(ローマ)

結

- 1.強大国
- 2.ユダヤ人
- 3.ローマ

要約

口序論

1. 暗闇の勢力

- 1) **強大国** おもに強大国とイスラエルの国ユダヤ人
- 2) **政治** 韓国おもに政治家
- 3) **世論** 多くの世論
- 4) **サタン** サタンが働いて暗闇の勢力の中に陥ってしまったのだ。

2. 光の勢力

光の勢力が現れた。政治家がしたのではなく、宣教師が入って来た。韓国に光が臨んだのだ。この光は何か。

- 1) **創 1:3** 創造の光だ。暗闇の中に創造の光が放たれると勝つしかないのだ。
- 2) **イザ 60:1-2** 解放させる主の光だ。起きて輝くだけで。
- 3) **詩 119:105** 神様のみことばは私たちの足のともしびだと言われた。
- 4) **ヨハ 1:11** そしてイエス様が光として来られた。
- 5) **マタ 5:14** あなたがたは世の光だと。

三つの庭 - 「光の神殿回復 - 私のやぐら」

皆さんが最初に握るべき契約が三つの庭だ。もし韓国に宣教師が来なかったとすれば、どうなっただろうか。大変なことになっただろう。宣教師があちこちに病院と学校を作って福音を伝えた。三つの庭がある神殿を回復しよう。これをするために私のやぐらを変えるのだ。

残りの者、残る者、残れる者、残す者

残りの者の祈り。残る者の祈り。残れる者の祈り。残す者の祈り。本当に助けてくれる人がいないので、この力を受けなければならない。

24、25、永遠

これを置いて無条件 24 しなさい。すると必ず 25 が見える。これが祈りなので皆さんに永遠の作品が出てくるようになっている。祈りを正しく味わい始めなさい。どこでもこの祈りを見つけ出しなさい。

ヨハ 1:14 みことば成就

そうすれば、必ず三つの庭を成し遂げる、すばらしいみことば成就が起きる。これが鍵だ。

ヨハ 1:14 を見ると、みことばが人となったということは、みことばが私たちに臨んだということだ。

3. 三つの庭

この光がどのように臨んだのか。韓国に三つの庭ができたのだ。多民族外国人宣教師が韓国を握っていた。

この方たちが学校を建ててレムナント運動をしたのだ。病院を建てて癒やしと福音を伝え始めた。

- 1) **多民族** 皆さんのゆえに多民族が生かされる。
- 2) **RT** この人々が学校を建てて、所々に大学を建てて、さらには中高の学校を建てて次世代を育てたのだ。
- 3) **癒やし** 病院を建てて癒やした。

口本論

1. **私の中に** みことばのやぐらが私の中に先に臨んでしまうのだ。

- 1) **7 やぐら** イエス様が、三位一体の神様が御座の力で私たちに 7 やぐらで働くこと約束された。
- 2) **御座の旅程** この力で御座の旅程を進みなさいと言われた。
- 3) **御座の道しるべ** 所々に御座の道しるべが建つようにしなさい。これからは 5 千種族の隠れた人材が集まるだろう。

2. 教会の中に

- 1) **出 2:1-10** モーセの母親がこのやぐらを立てたのだ。みことばに従っただけなのに世界をひっくり返す始まりだ。これが光の力だ。
- 2) **Ⅱ列 6:8-24** ドタンの町を作っておいたら、すべてのレムナントが起き始めた。アラムの国と戦わずに勝った。
△24、25、永遠の中にいればみな回復する。目に見えないやぐらが建ち始めて教会の中にレムナントが起き始める。多民族が起き始める。
- 3) **ダニ 1:8-9** 行く所ごとにバビロンのレムナントのように癒やす働きが起こる。神様のみことばに仕えたが相手には癒やしになるのだ。

3. 現場に

- 1) 使 13、16、19 パウロが一番最初に異邦人のやぐらを作った。これを作る時まで動かなかった。
- 2) 使 13、16、19 癒やしのやぐら。だれも治せない病気を癒やしてしまったのだ。
- 3) 使 17、18、19(ローマ) 会堂の目標がローマだ。

△「私は残りの者で、残る者で、残れる者で、残す者です」この祈りを回復するのだ。祈るとき、7 やぐら、御座の旅程、御座の道しるべだけ続けるのだ。今から始めなさい。いつも祈りの力の中にいなさい。

□結論

1. 強大国 強大国で想像もできないことが起こった。これが光の力だ。血のいけにえがエジプトをひっくり返したのだ。処女が身ごもって男の子を産む、その名がインマヌエルだと。その契約を握った人を通して働きが起こった。これからレムナントを見て想像を超えるだろう。

2. ユダヤ人 ユダヤ人のやぐらがめっちゃめっちゃになった。

3. ローマ 韓国の初期に福音を伝えに入ってきた宣教師が病気になって亡くなった。ところが、何年か後、その夫人が宣教師として来た。ある宣教師は娘と来て韓国の風土病に勝てずに亡くなった。二十何歳かのときに亡くなった宣教師もいる。彼らが共通して残した言葉がある。韓国は神様の祝福を受けた国で、韓国はこれから世界福音化する。今、見てください。韓国が世界福音化する祝福を受けたのだ。皆さんの小さな働きと祈りは光なので、世界を生かすことができる。この祈りを回復しなさい。

全文打ち出し

ありがとうございます。30年を超えて、私たちは今、神様の恵みで世界福音化をしています。もちろん、私たちの契約を持っている重職者たちや、長老の祈りのおかげです。また、表に現れずに私たちの多くの勸士、また、私たちの執事の祈り、このような部分が力になっているのです。表に現れずに私たちの多くの副教役者があちこちで献身したので、私たちは今、世界福音化をしているのです。

長い間、神殿建築の許可がおりなかったために、私がそれを置いてずっと24祈りをしました。そのときに与えられた答えです。三つの庭でした。「そうだ。この契約を見つけれなかったのだな」そして、その契約を握ってから、許可をはじめとして多くの答えが与えられ始めました。

そのような中で感謝することで、皆さんが祈ってくださることで、2024年が過ぎて新年が来ますが、私が海外に出て行けば普通の人々に会うようになるでしょう。何か、会ってみれば、どうしても人なのでいろいろな悪口、このような話、あのような話をたくさん聞きます。自ら少し分析をすべきなので、頭が少し痛かったりすることが多いです。ところで、すべてを聞いて分析してみれば、ほとんどみなそんなことでもないのに、そのような話をたくさん聞くようになります。長い間、唯一アメリカに行けば、私に祈りの課題だけ話す人がいます。しっかりと契約を握った事だけを話したのです。伝道だけを話します。そのとき、私が、霊的に通じるしかないでしょう。それゆえ、一緒に、これからは5千種族を生かして、このように長い間、ともに祈ってきたのです。そして、感謝なことに、今回は本人が5千種族を生かす宣教師として派遣されたいという意向を明ら

かにしました。良い。それで入ることに私たちが決定をして派遣したのですが、感謝なことに、皆さんに頑張れと今回いまおよそ 100 億ウォン程度を献金しました。祈らなければならないと。お金のためではありません。これはキリスト教会史にもあまりないことです。お金をたくさん貯めたのでしたではありません。自らの産業を切ったのです、今。ですから、神様の驚くべき時刻表でしょう。

それゆえ、これから多くの証拠が与えられるでしょう。だれがなんと言っても神様の計画は止めることができません。それゆえ、多分、ここから始まって、ものすごい 5 千種族の運動が実際に起こるでしょう。

ところで、今日、皆さん、簡単に今回三講を握ってください。今、韓国が極端な対決をしているでしょう。そうでしょう。ちょっと激しいです。狂ったように。では、そのようにしているのですが、それしか仕方がないでしょう、私が見ると。両方とも狂っています。それしか仕方がなくて。いや、これは何なのか。そうすると、わざわざが臨むでしょう。あのムアン（空港）のようなところを見てください。ものすごい事故が起こってしまったでしょう。わざわざです。皆さんが分からないからであって、皆さんの多くの言葉、分裂、家がそうでしょう。家にわざわざが臨みます。そうでしょう。人々がとても会社でも極端に、会社にわざわざが臨みます。聖書にありますか、あるでしょう。エペソ 4 章に。こそこそ人の話をしていると悪魔が機会を利用する。そして、箴言 6 章 2 節に「自分の口のことばによって、自分が罠にかかり」と言われます。この舌はよく見えないのですが、大きい船が小さい舵一つで動きます。ですから、とても話すことに気を付けなければならないということは、私たちが話すことが何でもないように見えるでしょう。それは霊の世界を知らないからです。私はサッカー解説をする人々も、単に聞いていると、本当に運が悪く言う人がいます、話を。それが影響がないでしょう。続けて私たちが負けます。ある人を見れば、解説することを見れば、何かこのように、このようにすることがあるでしょう。前におかしく解説する人が一度追い出されたでしょう。

一度は偶然に、このように、見たくて見るのではなくボクシングをぱっと見たのですが、私はよく知らない選手です。うまい選手らしいです。今でも私の名前を覚えています。イ・ドンギというボクシング解説者です。この人が解説をととても変にするのです。放送に出たのですが。相手の選手がとても速い選手です、見ると。ところで、私たちの選手がその人の動作をあらかじめ見て動いていました。私が見るときは、とても上手にする選手です。その人がどのように出てくるかではなく、あらかじめ予測をして動きます。そこで、イ・ドンギという人が、何と話すのかというと、「あ、私たちの選手は瞬発力があまりないです」こう言いました。違うのに、ずっとそのような言い方で解説をします。最後に勝ちました。何を言うのでしょうか。そう「よく耐えました」こう言いました。主よ…。話をするから稼げるのですが、そのようにして稼いではいけないでしょう。そうでしょう。

今、韓国に起こっていることが長い間続いていることなのです。6.25（朝鮮戦争）の時から来ているのです。私たちのレムナントは分からないでしょう。私たちは幼いとき、いつも見て生きてきました。そんなに毎日戦って。共産主義しよう、民主主義しよう、このようにいつも戦いました。それを今続けてしているのです。

口序論

1. 暗闇の勢力

そうすると、暗闇の勢力が臨むようになります。

1) 強大国

おもに強大国と、特にイスラエルの国はユダヤ人と。

2) 政治家

簡単に話せば、韓国、おもに政治家です。

3) 世論

このような人々と、普通、何かまた、多くの世論と。

4) サタン

このように、サタンが働いて。暗闇の勢力の中に陥ってしまったのです。

2. 光の勢力

このときに、韓国に、昔に、このとき、どんなことがあったかということです。光の勢力が現れたのです。政治家がしたではありません。このとき、韓国にすでに宣教師が入って来ていたのです。それとともに、ものすごいこと、重要なこと三つをしました。それをする前に、全世界に、韓国に起こっているくやしいことを知らせました。それとともに重要な三つのことをしたのです。これが韓国に光として臨んだのです。では、この光はなんでしょうか。

1) 創1:3

創造の光です。暗闇の中に創造の光が放たれると、勝つしかないということです。

ここに今、年をちょっと取っている長老はご存知でしょう。韓国がどれほど貧しかったのか。話もできないほど貧しかったです。ひとまず、夕食を食べて明日の朝の心配をするほど、韓国は難しかったのです。それゆえ、あいさつが、会うと「食事しましたか」こう言うでしょう。この頃もそのようなあいさつの習慣になっているのですが、昔には、無条件、会うと「食事しましたか」食べられないから。そのような韓国が今、先進国の隊列に立っています。何ゆえにそうでしょうか。理解できないということです。今、ほかの国も韓国が理解できなくて。毎日、あのような政治家だけ集まったのに、国が祝福されて。理解できないでしょう。ですから、アメリカから私たちの朝鮮戦争に参加した軍人が来て衝撃を受けました。このように発展することができるのか、ということです。あるシステムは、アメリカとも比較にもならなくて。韓国のシステムはとても発展しています。

2) イザ 60:1-2

解放させる主の光。起きて輝くだけで。

3) 詩 119:105

この詩篇 119 篇 105 節に、神様のみことばは、私たちの足のともしびだと言われました。

4) ヨハ 1:11

そして、さらに重要なことは、ヨハネ 1 章 11 節にイエス様が光として来られました。

5) マタ 5:14

そして、私たちを見てマタイ 5 章 14 節に、あなたがたは世の光だと。

3. 三つの庭

では、この光がどのように臨んだかを知っていなければなりません。このとき、韓国に三つの庭ができたのです。必ず覚えてください。三つの庭ができたのですが、この庭にはだれがいたのでしょうか。完全に多民族外国人宣教師が、韓国を支えてくださっていました。本当に幸いです。この方々が何をしたのでしょうか。

学校を建てました。簡単に話せば、レムナント運動をしたのです。その程度ではありません。このすぐ釜山のそばに、イルシン産婦人科病院です、バヌアツから来て病気になったマッケンジー宣教師の娘たちが来たのです。自分が来て、韓国がとても貧しいと、夫人がみな子どもを産んで死ぬから、子どもも死んで、そこで子を産める病院を建てたのです。こうして、彼らが福音を伝え始めたのです。韓国が急に生かされ始めました。暗闇が力を使えなくて、韓国には世界福音化するほど働きが始まったのです。信じてください。

[三つの庭]

それゆえ、今日、皆さんが最初に握るべき契約が三つの庭です。いま、私たちの献金を決意したあのチームとも話したことが何でしょうか。三つの庭です。これがすべてです。この単語を正しく分からなければ、世界福音化ができません。この単語がすなわち多民族の庭。そうでしょう。

もし韓国に宣教師が来なかったら、韓国はどうなったのでしょうか。大変なことになったのでしょうか。その強大国が押しでも対策がありません。私たちは目をとじているということです。強大国が起きて、韓国を踏みにじり始めると、これをすべて外国の宣教師が知らせて資料をみな残したのです。その資料が今あります。その人々がいなかったならば、韓国は大変なことになるところでした。それとともに、あちこちに行って病院を作って福音を伝えたのです。そして、学校を作って福音を伝えて。代表的な大学、延世大のような、そうしたこと、セブランスこれがみな宣教師が作ったこと、すべて作ったということです。そして、病院も作って、学校も作って、三つの庭。

それゆえ、皆さんがこの祝福を味わうのに、この三つの庭が、本論に入る前に、今日、どんな課題を握るべきでしょうか。

[三つの庭] - 「光の神殿回復 - 私のやぐら」

光の神殿を回復しましょう、ということです。三つの庭がある神殿を回復しましょう。このことをするために私のやぐらを変えるのです。ここで重要な答えをあらかじめ出して行ってください。

では、今回は長くはありません。強く握る契約を握ってください。皆さんがこの驚くべき祝福を味わうためには、どんな祈りが始まるべきでしょうか。

[残りの者、残る者、残れる者、残す者]

残りの者の祈り。皆さんは死にません。残る者の祈り。残れる者の祈り。残す者の祈り。しばらく私たちの副教役者と挨拶して、そのような話をしました。みなさんは重要です。恐れてはならない。ここにモデルになります。皆さん、認められる人はいません。この力を得てください。そうでしょう。皆さんを本当に助ける人もいません。みなさん、この力、この力がなければなりません。

[24、25、永遠]

これを置いて無条件 24 しなさい。これが祈りです。それゆえ、人によって違ってもかまいません。目が覚めて5分だけ祈っても 24 の始まりです。レムナントは5分だけしても良いのです。寝るときに5分だけでも良いのです。昼に重要なとき、少しの間だけでも良いのです。それでも 24 になります。私の場合は、最初から目を覚ませば、メッセージしに行く時までします。仕方ありません。今日一日中、そのままメッセージしに来るときまで。もし秘書がそばで尋ねたら、返事もよくしません。なぜでしょうか。これをしているので。

すると、必ずこれが(25)見えます。これが祈りです。これが祈りであるゆえに、皆さんにこの(永遠)作品が出て来るようになっていきます。

ですから、祈りを正しく味わい始めてください。「どこへ行って祈れば良いのでしょうか」正しいのですが、祈りではありません。どこでもすべきです。そうでしょう。「あ、このようなときは祈らなければならないでしょう」正しい言葉ですが、間違った話です。どこでもかまいません。これを見つけ出してください。そうすれば、皆さんはすでに残りの者、残る者、残れる者、残す者の祈りが回復するのです。

何の心配もしなくても良いのです。待ちなさいと言われました。25 が来ます。すると、皆さんの働きの中に合わさって作品が出てきます。

「私は祈りが分らないです」皆さんの祈りが、みな合わさって今世界福音化が起きているのです。そうでしょう。皆さんの祈りが合わさって世界が動いているのです。それが分らなければ、祈りが分らないのです。

それゆえ、私はムスリムの定刻祈り、そのようなことは私たちには遊びです。そうしたことはできません。私たちの苦勞する副教役者、わかるでしょう。皆さんはここに主役です。何か、どこかの会堂に集まってする、そのような祈りでは世界福音化ができません。靈的問題は解決できません。何かどこかの寺に行って 108 拜のお辞儀をして。そのような形では何もできません。なぜでしょうか。私たちは 24 します。何の話なのか分かるでしょうか。

[ヨハ1:14 みことば成就]

そうすれば、必ずこれが来ます。三つの庭を成し遂げる、このすばらしいみことば成就が起こります。これが鍵です。みことばが神様ですが、ヨハネ 1 章 14 節を見ると、みことばが人となりました。これは、受肉でもあり、救いでもあります。みことばが私たちに臨んだ、このことです。これを最初に覚えてください。三つの庭。

3. 三つの庭

1) 多民族

皆さんのゆえに多民族が生かされる、これです。これより、さらに良いことがどこにあるでしょうか。韓国に一番最初に三つの庭に宣教師が来ていたのです。そのように外国人がいない時代でしょう。そのようなときに来たということです。

2) RT

この人々が学校を建てて、所々に大学を建てて、さらには中高など学校を建てて、次世代を育てたのです。

3) 癒やし

そうしておいて、病院を建てておいて癒やしをして。何、この前に聞いたのですが、イルシン病院、あそこはマッケンジーの娘が二人来て、ベッドがないから、人々が来て死んだのです。その娘たちが行って、米軍の部隊に要請をしたそうです。このように、韓国の人々が戦争が起きて死ぬから。子を産みながらも死んで、子どもも死んで、妊婦も死ぬので助けてくださいと言ったのです。それでは何を助けようかと言われて、ベッドをちょっとくださいと。米軍が使って残ったベッドがあればくださいと。それゆえ、その米軍で、そのベッドを持ってきて、その病院に置いたということです。このように、韓国が始まりました。

それなら、私たちがこの三つの庭が何かを目を開いてください。これを開いてこそ、神殿が回復して。光の神

殿が回復します。

口本論

このときから三つのことが与えられます。

1. 私の中に

この祈りを継続していると、このみことばのやぐらが私の中に先に臨んでしまいます。どのように臨むのでしょうか。

1) 7やぐら

イエス様が直接語られました。イエス様が三位一体の神様が御座の力で私たちに7やぐらで働かれると約束されました。

2) 御座の旅程

この力で御座の旅程を進みなさいと言われました。

3) 御座の道しるべ

最後の時間に話しますが、所々に御座の道しるべを建てなさい。来るようになっています。

これからは5千種族の隠れた人材が集まるでしょう。

2. 教会の中に

では、これをそのまま終わらせるのではないということです。いよいよ私たちの教会の中に建てるのです。祈りで。このように準備すれば良いのです。私たちの教会に来たところ、多民族がこの力を得るのです。では、時間がないから一つずつだけ例をあげます。

1) 出 2:1-10

モーセの母親です。このモーセの母親がこの(出 2:1-10)やぐらを建てたのです。想像できないことが起こるのです。本人も知りませんでした。みことばに従っただけですが、これがということです、世界をひっくり返す始まりです。これが(出 2:1-10)光の力です。これが(出 2:1-10)神様のみことばの力だということです。確実な証拠があるでしょう。こういうことを教会の中に作るのです。

2) II 列 6:8-24

そして为什么呢。たくさんありますが、II 列王 6 章 8 節から 24 節、例えば、ドタンの町を作っておくから、すべてのレムナントが起こり始めたのです。アラムの国と戦うこともせずに勝ちました。

今も皆さんは、はやくこれを回復してください。24、25、永遠。この中にいれば、皆さんが健康も回復して、みな回復します。そして、目に見えないやぐらが建ち始めるのです。教会の中に、今まさにレムナントが起き始めます。教会の中に、多民族が起き始めます。

3) ダニ 1:8-9

その程度ではないでしょう。行く所ごとにこのレムナント、バビロンのレムナントのように、癒やす働きが起きます。癒やそうとしたのではありません。神様のみことばに仕えたのですが、相手には癒やしになる働きが。皆さん、このような祝福を持っていますから。すでに来ているから、やぐらが作られます。

3. 現場に

いよいよ皆さんの現場に。現場にパウロを見れば、一番正確に悟ることができます。では、知っているのです、いつも味わってください。

1)使 13、16、19

パウロが 13 章、16 章、19 章を見れば、一番最初に作ったのが何でしょうか。異邦人のやぐらを作りました。では、それを作られる時まで、ある時は動くこともありませんでした。心配する必要がありません。皆さんの産業にこのやぐらが建ってしまったら、産業がうまくいくでしょうか、いかないでしょうか。尋ねる必要もないでしょう。レムナントの学業の中にこのやぐらが建ってしまいました。

2)使 13、16、19

そして何でしょうか。13 章、16 章、19 章。また、何が出て来ますか。癒やしのやぐら。だれも治せない病気を癒やしてしまったのです。こういうことが出て来るのです。

3)使 17、18、19(ローマ)

それとともに、結局はなんでしょうか。17 章、18 章、19 章に何が出て来ますか。会堂。そして、目標が何でしょうか。ローマ。これです。

簡単に契約を握れば良いのです。私は残りの者で、残る者で、残れる者で、残す者です。この祈りを回復するのは。そのまますれば良いのです。それゆえ、私の場合は、いつも言う話、皆さん、健康でなければならぬと、私の場合は集中を呼吸をもってするので、ほかの人は違うようすれば良いです。私はそのようにします。2019 年にノーベル賞を受けた学者が話しました。呼吸が短くて細胞まで酸素が届かないので、必ずがんが生じるとそう言いました。この人が科学的に証明しました。足りなくて細胞にがんが生じます。だれでも、できて、なくなって、できて、なくなって、するということです。ところでこれが足りないので、生じてしまうのです。それゆえ「そうだ」ですから、皆さんがこのようにだけでも、レムナントの脳が生かされます。なぜしないのか分かりません。神様が与えてくださった呼吸をなぜしないのでしょうか。息をして、これを。

そうして、祈りに続けて入ります。祈るとき、これ(7 やぐら、御座の旅程、御座の道しるべ)。これだけ継続するのは。すると、私たちの教会の中に作られます。それでは、いよいよ何でしょうか。現場に三つの庭が出て来る。これが勝利です。ですから、今日から、今から始めれば良いのです。それゆえ、皆さんがいつも祈りの力の中にいてください。そうでしょう。別の力が必要でしょうか。祈りの力の中にいてください。ほかの幸せ、幸せはありません。それは、みなむだです。祈りの幸せの中にいてください。ほかのことは幸せではありません。そして、ほかの答えは答えではありません。御座から与えられる力でなければなりません。それを味わうのです。

□結論

では、どんな結果が起こったのでしょうか。

1. 強大国

強大国で想像もできないことが起こりました。これが光の力です。だれも予想ができませんでした。血のいけにえをささげに行くというと、ファラオがあざ笑いました。「何の血のいけにえか。お前が今、精神をあまり整えなかったんだな」わかることもできないことです。ところで、これが、エジプトをひっくり返したのです。強大国、行く所ごとに。また、捕虜になったから、処女が身ごもって男の子を産む、ほかのことではだめなの

で、その名がインマヌエルだと。その契約を握った人を通して働きが起こるのです。想像を超えていました。想像超越。

それゆえ、多分、皆さんはこれからレムナントを見て、想像超越でしょう。私たちに、どうして、このようなことが起こるのか、ということです。

2. ユダヤ人

完全にユダヤ人のやぐらをたたき壊したでしょう。完全にめっちゃめっちゃになりました、ユダヤ人。

3. ローマ

それだけでしょか。ローマ。

韓国に初期に福音を伝えに入ってきた宣教師が、雨が降ったので、雨を避けるために、村には葬式をした後に道具を集めたところがあるでしょう。そこに入って休んだのです。どれくらい韓国が衛生が良くなかったのか、その宣教師がそこに入ってちょっと休んで出てきて病気になってしまったのです。それゆえ、この方が亡くなったのです。ところで、この方が亡くなると宣教師がいないでしょう。数年してその夫人が宣教師として来たのです。「私は韓国で、この福音運動をする」ある宣教師は娘と来て、この韓国の風土病に勝てなかったのです。そして、病気になって死んだということです。二十何歳のときに死んだ宣教師もいます。その人々が共通して残した言葉があります。死ぬときに残した話があるのです。普通に言った話のように見えるのですが、同じ言葉を言いました。「韓国は神様の祝福を受ける国で、韓国はこれから世界福音化をする」私はそれは単なる慰めの言葉だと思っていました。今、見てください。韓国が世界福音化する祝福を受けているのです。そして、先進国の仲間入りをするしかなくなりました、私たちは。

それゆえ、皆さんの小さな働きと祈りは光なので世界を生かすことができます。この祈り(課題、表)を回復してください。2講のとき、またちょっと違った話をします。今回は必ず回復しなければならないことだけ話します。祈ります。

祈り

神様に感謝いたします。24 神様の力を味わいますように。主が休まないで祝福される神様の見張り人になりますように。新しい力を得る光の力を所有しますように。主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン